
変態でハーレムな魔法使い！

わうわう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

変態でハーレムな魔法使い！

【Z-ONE】

Z0537Z

【作者名】

わうわう

【あらすじ】

「こんにちは、胸を揉ませてくれませんか？」

2012年、今の現代に魔法が絡み合った世界。
主人公、神崎 海斗はぴつぴちの高校1年生。
数々の伝説を残す破天荒な少年である。

今日も女の子に【自主規制】なことをする、あるいはしてもらひつた
め、

元気に登校中つ！

時に変態で、時にシリアルスで、時に日常的な物語、ついに始まるつ

!— (ポロリも魔法もあるよつ !—)

プロローグ（前書き）

【注意事項】

- ・とりあえず、主人公は最強設定です。
- ・小説のくせして一話が超短いです。
- ・細かいところはなんとなく適当に書いてくるところもあります（泣）
- ・なんかもう色々詰め込みすぎでカオスな状況になつてたりするかもしれません。
- ・登場キャラ数が多いです。
- ・一回の投稿文字数はめっちゃ少ないです（汗）
- ・更新速度はめっちゃ遅いです。
- ・主人公は変態です。

それでも読んでもらえるよ、といつの方のみ本文へお進みください

プロローグ

【プロローグ】

高校生。

この甘酸っぱい青春の詰まつた言葉に皆は何を思つだらうか？

昔、高校生をしていた人も。
今、高校生真っ盛りの人も。
これから高校生になる人も。

十人十色。

色んな人がいて、色んな思いがある。

高校生。

楽しい思い出を作つたり。
苦い黒歴史を作つたり。

全部が全部、いいことばかりなんかじゃない。

でも、そういうのも全部ひつくるめて高校生の思い出。

綺麗だつたり。

汚れてたり。

不思議だつたり。

それらは全て、その人の思い出となり心の中に宝石となつて輝き続ける。

甘かつたり。

辛かつたり。
苦かつたり。

色んな出来事があつて、飽きる」とのない毎日。
自分次第でどんな色にも変わる高校生活。

高校は色んな感情、思い出の集まる場所。

あなたは、どんな高校生活を送りたいですか?
あなたは、どんな高校生活を送りたかったですか?

俺は・・・

プロローグ（後書き）

はい、変態な作者です。

今回は注意書きとへんなプロローグしか投稿できないといつ非常に残念な結果となりましたっ・・・

これから変態主人公頑張つて考えますからっーー！

それと、どうでもいい情報。
作者はシスコンです！！

・・・「めんなさい、なんでもないです（泣）

入学式（前書き）

【注意事項】

- ・とりあえず、主人公は最強設定です。
- ・小説のくせして一話が超短いです。
- ・細かいところはなんとなく適当に書いてくるところもあります（泣）
- ・なんかもう色々詰め込みすぎでカオスな状況になつてたりするかもしれません。
- ・登場キャラ数が多いです。
- ・一回の投稿文字数はめっちゃ少ないです（汗）
- ・更新速度はめっちゃ遅いです。
- ・主人公は変態です。

それでも読んでもらえるよ、といつ方のみ本文へお進みください

入学式

校門の前にて。

「お兄ちゃんの変態つ
「ぐはつ！？」

『妹』からの華麗なひじ鉄に悶絶する『兄』が一人・・・。

妹。
「女の子の胸ばっかり見てつ！」

名前は【神崎 美咲】
[かんざき みさき]

この物語の主人公である、神崎 海斗の妹である。
身長は155cmと、女子の中では平均的。
髪の毛は肩に少しかかる程度で、横に片方に結わえてリボンを付
けているのが特徴的。

兄。

「いや、たまたま目がいつちゃつただけだって・・・

名前は【神崎 海斗】
[かんざき かいと]

この物語の主人公である。

身長は173cmとこれまた平均的。

髪の毛に、癖はなく肩にかかるか、かからないか程度のオーソド
ックスな髪型。

「本当に・・・？」

疑いの目で兄を見上げる妹。

「本当に？」

その妹から逃げるように田んぼを逸らす兄。

「ホントウ？」

今度は二ヶ「ことした（ただし、田は全く笑っていない）笑顔で。

「すみません、見まくつてました。」

なんとも情けない兄つぶりを披露する。

「もう、お兄ちゃんつたら・・・そういうことなら私のを見れば・・・

・ブツブツ。

なにやら急になにか妹が独り言をつぶやき始める。

「なあ、とりあえず校舎に入ろうぜ、入学式に遅刻するなんて嫌だ
る、な？」

今まで女の子の胸ばかり見ていた自分のことは棚に上げ、妹の妄想
世界を打ち碎くため、
もつともじらしい正論を吐く兄。

「ふあつ！？ そもそも、そうだねお兄ちゃんつ！ 早くいこつ！...」

やつと現実に返ってきた妹は顔を真っ赤にしながらパタパタと校舎
に向かつて走つていった。

その後ろ姿を眺めながら兄は・・・

「まったく・・・なんて可愛い妹なんだつ！」

・・・と、変態シスコン発言を堂々と呟いていた。

『後ろから覗かせていた殺氣には気が付いていないフリをしながら

『』

「なつ！？ ひ、広いな・・・無駄に・・・
校内に入つてみると、なんのために作つたのか、あまりにも大きな
下駄箱が『海斗』を待ち受けていた。

「お兄ちゃんっ！ 時間なによつ、遅刻しちやうつー…」
『美咲』はこの馬鹿げた大きさの下駄箱に気づかない様子で海斗に
急ぐよつに促す。

「そんな慌てる美咲も可愛いよ。 よし、行くかっー！」
前半部分に変態丸出しな言葉を発してたのは秘密

「ふあつ！？ も、もう・・・お兄ちゃんのバカつ、・・・ふふ、
いこ？」

そんな海斗の緩み具合に美咲は呆れたのか、落ち着きを取り戻した
様子で海斗に微笑みかけていた。

体育館へ

。

「はあ、はあ・・・やつと着いたあ。」

俺たち兄弟はなんとかギリギリ入学式の行われる体育館にたどり着
いた。

「だからなんでこんなに広いんだよ・・・」

そこは、まるで校庭をそのまま体育館にしてしまつたような広さだ
った。

一体、何をするつもりなんだろうか・・・？

「お兄ちゃん、あっちの席、空いてるよ！」

美咲が空いている席を指差しながら田一杯の笑顔を海斗に向ける。

「お、お、今行く！」

海斗はそう言い、美咲の座った席の左隣に座る。

美咲は未だに興奮した様子で目を輝かせながらキョロキョロあたりを見回していた。

（しつかし、こんなに元気な美咲を見るのも久しぶりだな・・・）
それに、さっきまで走っていたため、頬がほんのりと朱に染まっている。

そして、そこに田一杯の笑顔。

笑顔がまぶしいとはまさに今の妹のことなのだな、このときの俺は思った。

やつぱり、高校生はいいものだな・・・
俺はしみじみと感じた。

妹の中学生から高校生への成長。

体はさすがに突然変わったりなんてしない。

しかし、中学から高校に上がったことで、気持ち的にワンランク大人になつたようだ。

身体的ではなく。

精神的に。

普段の可愛い外見からチラリと色香を漂わせる魅惑的な体になつていた。

一言で言えば。

『最高だ』

俺が人生で見てきた妹史上で最も可愛いと断言できる。たしかに、俺の人生はちっぽけでまだ、俺の知らない妹たちもいるのだろうが、

それでも、『俺の妹』は最高だといえるだろう。

『つまり、俺の妹が、最高で最強だといつーー!』大事なことなので、これから何度も言います。

「ふう・・・・」

妹の隣で海斗はそんなことを考えていた。
なかなか重度なシスコンぶりである。

「あつ、お兄ちゃん、式が始まるみたいだよつ?」
「ん、ああ、そうだな」

視線を前に戻す。

壇上には学校長がマイクに手を取り、新入生に歓迎の式を執り行つ準備をしていた。

ここから始まる。

この世界。

いや、全世界を動かす少年の物語が・・・。

入学式（後書き）

あとがきはこつもいから。

シスコンな作者です。

主人公の登場ですっ！！

今回は、変態ではなく。

シスコン重視なお話となつてしましました。

しょうがないね。

妹可愛いもんね。

いつかタイトルが【シスコンで変態な魔法使い】とかになりそうです（笑）

・・・とまあ、そんな[冗談はこれぐらい]。

魔法要素はまだまだ出てきません。

ハーレム？ 当分来ないよ？

すみませんっ。 すぐ出しますっ！！

それじゃあねっ！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0537z/>

変態でハーレムな魔法使い！

2011年12月5日22時48分発行